

アンチブロッキング剤マスターバッチ

オレフィン用のアンチブロッキング剤マスターバッチです。プラスチックフィルムは、表面が平滑であるため、プラスチックフィルム同士を重ね合わせて長く接触したり、熱を掛けると、互いに密着して容易にくっ付きやすくなる現象が起こります。この現象を防止する為のアンチブロッキング剤マスターバッチです。フィルム表面に無機材料であるシリカ、珪藻土やアクリルビーズ等を練り込む事で、凹凸が生じフィルム同士の密着を防止する事が出来ます。

| 品名 | PEM 46460 | PEM 10H580 | PEM 10K282 |
|-----------|-----------|------------|------------|
| ベース樹脂 | LLDPE | LLDPE | LLDPE |
| ベース樹脂 MFR | 9 | 9 | 9 |
| 添加剤濃度 | 15% | 20% | 20% |
| 標準添加量 | 2~5% | 2~5% | 2~5% |
| タイプ | 珪藻土 | 合成珪酸塩 | 有機系 AB 剤 |
| 平均粒子径 | 10μm | 3μm | 8μm |
| 適応樹脂 | PP、PE | PP、PE | PP、PE |

■特徴

【PEM46460】

珪藻土を分級する事により粒子径を揃えたものを使用したマスターバッチです。合成シリカと比べ粒子形が不形状となっております。

【PEM10H580】

添加剤成分として使用している合成シリカは、1次粒子径のサイズがほぼ揃っており、マスターバッチ内で高分散しているという特徴があります。また、粒子径が球状となっておりますので高いアンチブロッキング性が期待出来ます。

【PEM10K282】

添加剤成分として PMMA ビーズを使用したマスターバッチです。ポリマータイプである為、フィルム同士の傷付き性、粒子の脱落、AB性において高い効果を示します。

※各製品に様々な特徴が御座います。フィルムの厚み、別の添加剤等の影響により効果が変わる可能性が御座いますので、必ず実際の成形加工条件等で御試験をされてから御使用下さい。